

東日本大震災から9年目を迎えるにあたって

生徒の皆さん、お元気ですか。

大震災から明日で9年を迎えます。皆さんは、大震災時は、小学校1年生から3年生で遠い記憶にはなるでしょうが、大変な思いをされたことを覚えていることと思います。私もそうですが、久しぶりに家族と再会できた時の心からの安堵と喜びもよみがえっているのではないのでしょうか。宮城県では、ご家族やご親族、友人や級友を無くした方が大勢いらっしゃいました。あらためて、お亡くなりになりました方のご冥福をお祈りいたします。また、まだまだ復興途中ではあり、被害に遭われて今なお辛く苦しい状況にいらっしゃる方に心よりお見舞い申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染の大きな脅威があり、その不安と不便さから9年前の不便さや辛い日々を思い起こしている方も少なくないでしょう。

あの日の教訓と備えへの誓いは、今活かされているかを自問する時です。私たち生かされている者にとって、あの経験と教訓を胸に刻み、語り継ぐことが大切です。そして、その心構えを、今後の身を守る行動につなげていただければと思います。

本校では、明日、職員は震災発生時刻の午後2時46分に合わせて、黙祷を捧げます。皆さんも可能な範囲で、犠牲者への哀悼の意と今後へのより良く生きる決意を表して、祈りを捧げていただければ幸いです。

宮城県仙台東高等学校 校長 石澤 浩二